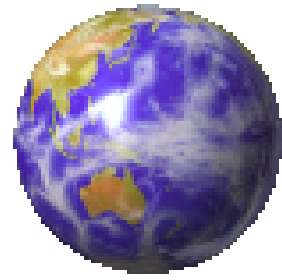


エコアクション21 環境活動レポート



(2012年度版)
(平成24年4月～平成25年3月)



www.sbm-inc.co.jp

平成25年6月17日

総合ビル・メンテム株式会社

総合ビル・メンテナンス株式会社・環境活動レポート

1. 組織の概要と環境活動実施体制

- (1) 事業者名及び代表者名
総合ビル・メンテナンス株式会社
代表取締役 近藤宏章
- (2) 所在地
徳島県徳島市大道2丁目28番地
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者
【環境管理責任者】 元木文昭 (補佐：富野 滋)
【事務局】 今井一史
- (4) 連絡先
【TEL】 088-625-7350
【FAX】 088-626-1808
【Email】 f.motoki@sbm-inc.co.jp (元木) t.tomino@sbm-inc.co.jp (富野)
k.imai@sbm-inc.co.jp (今井)
- (5) 事業内容
* 総合ビルメンテナンス業務
・ 設備管理業務
・ 環境衛生管理業務
・ 清掃管理業務
建築物環境衛生総合管理業登録
建築物飲料水貯水槽清掃業登録
建築物ねずみ昆虫等防除業登録
医療関連サービスマーク認定
浄化槽保守点検業務登録
* 施設警備業務
警備業認定
* 労働者派遣業務
一般労働者派遣事業許可
* ホテル、マンション管理業
マンション管理業登録
* 各種メンテナンスに関するコンサルタント業務
- (6) 事業規模
* 総社員数414名 (正規社員247名 派遣/看護助手/パート/アルバイト等167名)
* 主な契約施設数 70
- (7) 事業年度
4月～3月

2. 対象範囲

- (1) 環境活動実施体制
本社ビル及び清掃部門、警備部門、設備部門における実施体制(担当者)
* 経営者 : 近藤宏章(社長)
* 環境管理責任者 : 元木文昭(常務) 補佐：富野滋(部長)
事務局 : 今井一史(部長)、三木登(部長)、岡崎良治(課長)、菊川真希
榎浦宏典(電気主任技術者)
* 本社業務担当者 : 今井一史(部長)、三木登(部長)、岡崎良治(課長)
* 清掃業務担当者 : 久米武夫(部長)、岩木章(課長)
藤原成人、池田国臣、瀬山績、逢坂智秀
* 警備業務担当者 : 岡崎良治(課長)、萩原栄二
* 設備業務担当者 : 斎藤武重(副部長)、美馬利行
- 関連組織
安全衛生委員会
防災委員会(BCP委員会)
- (2) 今回の対象とした業務及び施設
本社業務 15名 本社ビル(本社事務所) 延べ床面積 918㎡
清掃業務 161名
警備業務 52名
設備業務 58名
派遣/看護助手/受付/パート/アルバイト等128名の業務は、客先業務に組み込まれており、対象から外しています。

3. 環境方針

総合ビル・メンテム株式会社----環境方針

環境活動理念

当社はビルメンテナンスを核としたサービス業務を展開しています。
地球環境問題が当社の業務においても重要課題の一つであることを十分認識し、日常の業務活動を通じて、環境に調和した付加価値のある業務展開を積極的に行い、広く社会に貢献して参りたいと考えます。
当社は「建築物の環境衛生及び安全の分野において、技術力に裏付けられた高水準のサービスを“信頼と誠実”をモットーに、提供すること」を企業理念としています。
環境負荷の軽減活動は、当社の重要な経営目標のひとつであります。
この環境負荷軽減への取組みを強化するツールとして、エコアクション21は、生産施設を持たず、多様な客先で業務を実施する当社にとって、現場活動の一環として展開できる環境マネジメントシステムであります。
エコアクション21により、省エネ、省資源、廃棄物の削減等の環境活動を推進して参ります。

環境活動方針

環境活動理念を具現化するために次の活動を推進します。

1. 当社の環境負荷として考えられる「二酸化炭素排出量の削減」「廃棄物排出量の削減」「排水量の削減」に取り組めます。
2. 環境目標を定め、これを実行し見直すことにより継続的改善を図ります。
3. 環境に配慮した行動を社員一人ひとりのレベルまで徹底することに努めます。
環境教育等を通じて、全社員の環境に対する意識の向上を図ります。
4. 積極的に環境活動を展開し、環境に関する提案等を通じてお客様のベストパートナーとなることに努めます。
また、お客様施設の省エネルギー等の提案も行っております。
5. 環境関連の法規、協定等を遵守すると共に、社内の規定類を整備し、環境保全に努めます。
6. 環境活動と共に、当社の社会的責任の一環として地域社会貢献活動の推進に努めます。
また、当社1階部分を無料の貸会場「フリーゾーン」として地域社会の文化発展のために開放するとともに、2階部分にAEDを設置し、また献血等へも積極的に参加して参ります。

この環境活動方針を文書化し、実行し、維持し、全社員に周知し、外部に公表致します。

制定日 2008年 1月12日
改訂日 2010年 4月 1日
改訂日 2012年 4月 1日



総合ビル・メンテム株式会社

代表取締役

近藤 宏章

4. 環境目標と実績

4.1 環境負荷の分析と課題

当社は総合ビルメンテナンス業を主たる営業品目としており、客先施設での業務が中心となります。従って、定量的に当社業務に直接関係する環境負荷を把握できるのは本社ビルだけであります。各現場においては、客先施設での業務展開となるため、データを数値として捉えることには制限が出てまいりますが、控室等において可能な限り数値的把握に努めました。総排水量は水道使用量と同じとしました。有害物・危険物は使用または保管していません。(客先施設を除く) また、環境上の緊急事態は、火災及び地震・台風が考えられます。騒音・臭気・振動等の周辺への影響は、ほとんど発生しません。火災/地震/台風への対応については、対応計画・管理体制及び訓練の充実を今後進めていき、BCP(事業継続計画)活動において検討充実していきたいと考えています。

4.2 環境目標

環境負荷低減への取組みを{本社ビル}{清掃部門}{警備部門}{設備部門}において進めています。
 ・{本社ビル}においては、「二酸化炭素量」「廃棄物排出量」「総排水量」を、2007年度を基準にして毎年1%削減することを目標としています。
 「グリーン購入品目数」を2010年度より環境目標に加えています。
 ・{清掃部門}においては、「休憩室よりの廃棄物」及び「業務資材系容器廃棄物排出量」を、2007年度を基準に清掃対象契約金額の千円当たりのグラム数で比較し、毎年1%削減することを目標としています。
 ・{警備部門}においては、「休憩室よりの廃棄物排出量」を、2011年度を基準に、毎年1%削減することを目標としています。
 ・{設備部門}においては、2010年度より、「省エネ提案項目」を毎年2件以上増やしていくことを目標としています。また、「休憩室よりの廃棄物排出量」を、2011年度を基準に、毎年1%削減することを目標としています。

4.2.1【本社ビル 環境目標と実績】

項目		年度		2007年度実績 (H19/4～H20/3)		2008年度 (H20/4～H21/3)		2009年度 (H21/4～H22/3)		2010年度 (H22/4～H23/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績			
延床面積 [m ²]		918									
二酸化炭素排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減				
	総量 [kg-CO2/年]	57,404	56,830	55,613	56,256	56,824	55,682	59,424			
	原単位 [kg-CO2/m ² ・年]	62.53	61.91	60.58	61.28	61.90	60.66	64.73			
廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減				
	総量 [t/年]	1.957	1.937	2.351	1.918	1.597	1.898	1.336			
	原単位 [kg/m ² ・年]	2.13	2.11	2.56	2.09	1.74	2.07	1.46			
排水量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減				
	総量 [m ³ /年]	290	287	290	284	316	281	300			
	原単位 [m ³ /m ² ・年]	0.316	0.313	0.316	0.309	0.344	0.306	0.327			
グリーン購入品目数	目標 [2件/年]						2	10			
	累計購入品目数						2	10			

年 度 項 目		2007年度実績 (H19/4 ~ H20/3)	2011年度 (H23/4 ~ H24/3)		2012年度 (H24/4 ~ H25/3)		2013年度 (H25/4 ~ H26/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
延床面積 [m ²]		918						
二酸化炭素排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [kg-CO2/年]	57,404	55,108	52,340	54,534	48,209	53,960	
	原単位 [kg-CO2/m ² ・年]	62.53	60.03	57.02	59.41	52.52	58.78	
廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [t/年]	1.957	1.879	1.201	1.859	1.208	1.840	
	原単位 [kg/m ² ・年]	2.13	2.05	1.31	2.03	1.32	2.00	
排水量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [m ³ /年]	290	278	270	276	333	273	
	原単位 [m ³ /m ² ・年]	0.316	0.303	0.294	0.301	0.363	0.297	
グリーン購入品目数	目標 [2件/年]		2		2		2	
	累計購入品目数		4	12	6	13	8	

四国電力 調整後CO2排出係数 (平成22年度) 0.326 [kg-CO2/kwh]
四国ガス CO2排出係数 (13A) 0.0499 [kg-CO2/MJ]

4.2.2【清掃部門 環境目標と実績】

年 度 項 目		2007年度実績 (H19/4～H20/3)	2008年度 (H20/4～H21/3)		2009年度 (H21/4～H22/3)		2010年度 (H22/4～H23/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
清掃対象現場契約金額 [千円]		121,735	120,362		115,797		169,240	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減	
	総量 [t/年]	<u>1.543</u>	1.528	1.339	1.512	1.304	- -	1.175
	原単位 [㌔³/千円・年]	<u>12.675</u>	<u>12.548</u>	11.125	<u>12.422</u>	11.261	<u>12.295</u>	6.943
業務資材系容器廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減	
	総量 [t/年]	<u>0.173</u>	0.171	0.172	0.170	0.114	- -	0.204
	原単位 [㌔³/千円・年]	<u>1.421</u>	<u>1.407</u>	1.429	<u>1.392</u>	0.984	<u>1.378</u>	1.205

年 度 項 目		2007年度実績 (H19/4～H20/3)	2011年度 (H23/4～H24/3)		2012年度 (H24/4～H25/3)		2013年度 (H25/4～H26/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
清掃対象現場契約金額 [千円]		121,735	158,247		156,771			
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [t/年]	<u>1.543</u>	- -	0.982	- -	0.837	- -	
	原単位 [㌔³/千円・年]	<u>12.675</u>	<u>12.168</u>	6.205	<u>12.041</u>	5.339	<u>11.915</u>	
業務資材系容器廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [t/年]	<u>0.173</u>	- -	0.164	- -	0.178	- -	
	原単位 [㌔³/千円・年]	<u>1.421</u>	<u>1.364</u>	1.036	<u>1.350</u>	1.135	<u>1.336</u>	

2010年度より原単位を変更（2007年度基準の総量比較は2009年度まで）

4.2.3【警備部門 環境目標と実績】

4.2.3-1 (空港ビル)

年 度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2012年度 (H24/4～H25/3)		2013年度 (H25/4～H26/3)		2014年度 (H26/4～H27/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
警備対象現場契約金額 [千円]		21,367	21,151					
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減	
	総量 [t/年]	<u>0.086</u>	- -	0.049	- -		- -	
	原単位 [㊦/千円・年]	<u>4.025</u>	<u>3.985</u>	2.317	<u>3.945</u>		<u>3.904</u>	

年 度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2015年度 (H27/4～H28/3)		2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
警備対象現場契約金額 [千円]		21,367						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [t/年]	<u>0.086</u>	- -		- -		- -	
	原単位 [㊦/千円・年]	<u>4.025</u>	<u>3.864</u>		<u>3.824</u>		<u>3.784</u>	

4.2.3-2 (徳島赤十字病院)

年 度		2012年度実績 (H24/4～H25/3)	2013年度 (H25/4～H26/3)		2014年度 (H26/4～H27/3)		2015年度 (H27/4～H28/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
警備対象現場契約金額 [千円]		22,246						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減	
	総量 [t/年]	<u>0.403</u>	- -		- -		- -	
	原単位 [㊦/千円・年]	<u>18.116</u>	<u>17.634</u>		<u>17.754</u>		<u>17.573</u>	

年 度		2012年度実績 (H24/4～H25/3)	2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)		2018年度 (H30/4～H31/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
警備対象現場契約金額 [千円]		22,246						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [t/年]	<u>0.403</u>	- -		- -		- -	
	原単位 [㊦/千円・年]	<u>18.116</u>	<u>17.391</u>		<u>17.210</u>		<u>17.029</u>	

4.2.4【設備部門 環境目標と実績】

【省エネ提案項目他】

年 度		2009年度実績 (H21/4～H22/3)	2010年度 (H22/4～H23/3)		2011年度 (H23/4～H24/3)		2012年度 (H24/4～H25/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
省エネ提案項目数	目標 [2件/年]	現場への指導中	2	3	2	14	2	7
	累計提案数	0	2	3	4	17	6	24

年 度		2009年度実績 (H21/4～H22/3)	2013年度 (H25/4～H26/3)		2014年度 (H26/4～H27/3)		2015年度 (H27/4～H28/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
省エネ提案項目数	目標 [2件/年]	現場への指導中	2		2		2	
	累計提案数	0	8		10		12	

【控室よりの廃棄物排出量】

年 度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2012年度 (H24/4～H25/3)		2013年度 (H25/4～H26/3)		2014年度 (H26/4～H27/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額 [千円]		52,816	52,816					
控室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	1%減		2%減		3%減	
	総量 [t/年]	<u>0.229</u>	- -	0.183	- -		- -	
	原単位 [㌦/千円・年]	<u>4.336</u>	<u>4.293</u>	3.465	<u>4.249</u>		<u>4.206</u>	

年 度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2015年度 (H27/4～H28/3)		2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額 [千円]								
控室よりの廃棄物排出量	削減率 [%]	- - -	4%減		5%減		6%減	
	総量 [t/年]	<u>0.229</u>	- -		- -		- -	
	原単位 [㌦/千円・年]	<u>4.336</u>	<u>4.163</u>		<u>4.119</u>		<u>4.076</u>	

5. 環境活動計画

5.1 環境活動計画

5.1.1【本社ビル 環境活動計画】

(達成状況・評価チェック：6月、9月、12月、3月)

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール												達成状況/是正策 (本社責任者)				評価/指示 (環境管理責任者) 評価は9月と3月に実施
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	6月	9月	12月	3月	
【環境目標】	1. 二酸化炭素排出量の削減 電気使用量の削減 輸送に伴う環境負荷の低減 2. 廃棄物排出量の削減 廃棄物の排出抑制 3. 総排水量の削減 節水 4. グリーン購入	総務部長 担当者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：よくできている 廃棄物排出量及び水道 使用量には継続して注 意のこと 3月：同上
【環境活動計画】 電気使用量の削減	・空調の適温化 ・空調区域の適正化 ・照明の適正化、スイッチ部の 適正管理 ・その他電力の適正使用 ・クールビズ、ウォームビズの 実施	総務部長 担当者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：猛暑にもかかわらず 扇風機を併用してよ く頑張りました！ 3月：今季1～3月は寒か ったが、よく我慢して のりきった！
輸送に伴う環境負 荷の低減	・アイドリングストップ/適正空気 圧等エコ運転の配慮の指導 ・公共交通機関の利用の促進 ・社有車購入の際、排ガスレベ ル、燃費等の考慮	総務部長 担当者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：公共交通機関の利 用は不十分でした。 利用できない理由を検 討してみることも必要 3月：バス路線が不便、 自転車を推奨
廃棄物の排出抑制	・必要書類以外の印刷禁止 ・可能な限り両面縮小印刷の実 施 ・ペーパータオルの廃止 ・再生紙の使用 ・グリーン商品の購入に努める ・分別回収ボックスの適正配置 ゴミ分別の徹底	総務部長 担当者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：パソコンによる両 面印刷の実施は不十分 FAX紙においては実施中 3月：両面印刷も浸透中
節水	・節水ラベルの貼り付け	総務部長 担当者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：継続努力のこと 3月：継続努力のこと
省エネ活動&提案 についての指導	・設備現場における省エネ活動 省エネ提案の指導他 ・省エネ塗料の展開	技術部長 /副部長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：設備管理の重点項 目でもあり、実績を出 す努力をして下さい 3月：同上
内部環境監査	・内部環境監査員による内部監 査を受ける	内部環境監 査員	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					3月：一層のレベルアッ プに期待

注：達成状況 充分できている ほぼできている 未だ不十分である x できていない

クールビズ期間は前後延長しました。(5月～10月)

ペーパータオルの廃止：インフルエンザの季節だけ、感染予防のため緊急避難措置としてペーパータオルの使用(2012～2013はインフルエンザが流行らなかったため未実施)

5.1.2【清掃部門 環境活動計画】

(達成状況・評価チェック：6月、9月、12月、3月)

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール												達成状況 / 是正策 (清掃部門責任者)				評価 / 指示 (環境管理責任者) 評価は9月と3月に実施
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	6月	9月	12月	3月	
【環境目標】	1.廃棄物排出量の削減 廃棄物の排出削減	清掃部門 責任者 所長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：今後も指導を継続してください 3月：少しずつですが減量化できています。今後も継続のこと。
【環境活動計画】 廃棄物の排出抑制	・休憩室よりの廃棄物排出量の削減 *必要書類以外の印刷禁止 *ゴミ分別の徹底 ・業務資材系容器廃棄物排出量の削減	清掃部門 責任者 所長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：今後も指導を継続してください 3月：できています。今後も徹底継続のこと。
電気使用量の削減	・空調の適温化 ・人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底 ・長時間離席時及び外出時のパソコンOFFの徹底 ・休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底 ・帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく	清掃部門 責任者 所長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：この状態を継続してください 3月：テレビ及びポットの電源OFF徹底を継続してください。来客時後のポット電源OFFに注意のこと。
輸送に伴う環境負荷の低減	・アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導 ・自転車や徒歩通勤の勧め	清掃部門 責任者 所長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：今度も指導を継続してください 3月：是正措置報告書等を活用。継続期待。
節水	・水道使用方法の指導 *必要以外に水を使用しないことの徹底 *各種洗濯物の使用量の把握 *たらいや洗濯機の使用の推進 ・トイレの水量を減らす	清掃部門 責任者 所長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→					9月：今後も指導を継続してください 3月：是正措置報告書等を活用している。継続期待。
内部環境監査	・内部環境監査委員による内部監査を受ける	内部環境監査員											→						3月：是正・措置報告書、現場連絡カードを活用し、充実に期待

注：達成状況 充分できている ほぼできている 未だ不十分である × できていない

5.1.3【警備部門 環境活動計画】

(達成状況・評価チェック：6月、9月、12月、3月)

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール												達成状況/是正策 (警備部門責任者)				評価/指示 (環境管理責任者)
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	6月	9月	12月	3月	評価は9月と3月に実施
【環境目標】	1.廃棄物排出量の削減 廃棄物の排出削減 (データの採取)	警備部門 責任者 所長																	9月：この状態を継続して ください 3月：継続努力のこと
【環境活動計画】 廃棄物の排出抑制	・控室よりの廃棄物排出量の削減 *ゴミ分別の徹底 *ペットボトルの使用を控える。水筒持参 の推進、エコキャップ運動の推進 *マイコップの奨励 *マイバッグ(買い物)の利用	警備部門 責任者 所長																9月：今後も指導を続けて ください 3月：今後も周知維持の努 力が必要	
電気使用量の削減	・空調の適温化 ・人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底 ・休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの 電源OFFの徹底 ・冷蔵庫の温度調整 ・勤務者不在時コンセントを抜いておく	警備部門 責任者 所長																9月：この状態を継続して ください 3月：モニターOFFの習慣 をつけること	
輸送に伴う環境負荷 の低減	・アイドリングストップ等運転方法の配慮につ いての指導 ・自転車や徒歩通勤の勧め	警備部門 責任者 所長																9月：今後も指導を続けて ください 3月：運転方法に注意	
節水	・朝夕の洗顔、歯磨き、手洗い時の節水 ・水道使用方法の指導等	警備部門 責任者 所長																9月：この状態を継続して ください 3月：この状態を維持して ください	
全体	・ビルメン関係控室等の巡回点検 (関係者帰宅後：消灯、空調、ポット等)	警備部門 責任者 所長																9月：この状態を継続して ください 3月：この状態を維持して ください	
内部環境監査	・内部環境監査員による内部監査を受ける	内部環境監 査員																3月：是正予防措置報告書 及び現場連絡カードを 活用し、活動報告のデ ータを充実のこと	

注：達成状況 充分できている ほぼできている 未だ不十分である × できていない

{警備部門}においては、数量的な把握ができないため、定性的な活動計画としました。

【2012年度 省エネ提案項目】(既存施設管理分)

省エネ提案項目 (既存施設管理分)	・各空調方式の設定再見直し	空調機毎の設定の細かな調整の再見直し 例：温度の時間常別設定変更等(可能性も含めてならば見直していく)
	・照明のLED化の提案及び一部実施	照明をLED機器に取替工事実施
	・便所設備の運転時間の見直し	便所(全館)：手洗い給湯の全面停止 便座ヒーター夏期停止(5～10月)

【2012年度 省エネ提案項目】(新規展開分)

農業関係省エネ講習会の実務支援 (ボイラの整備、テックコート600の適用等)	徳島県立農林水産技術支援センター主催の省エネ講習会に(株)エコテックと共に講習支援 工業技術センター(数回) JA土成他数カ所のぶどう、トマト部会等(数回)
テックコート600の適用	ゴルフ場クラブハウス(ボイラー)(嬉野カントリー)
テックコート600の適用	農業用ハウスボイラー
ボイラ復水処理設備の省エネ提案、施工	ボイラー復水系統の還水漏れ防止提案、施工(嬉野カントリー)

6 . 環境目標の実績

6.1 環境活動の実績

各部門の環境活動の実績については下記による

{ 本社ビル }: 4.2.1【本社ビル 環境目標と実績】

{ 清掃部門 }: 4.2.2【清掃部門 環境目標と実績】

{ 警備部門 }: 4.2.3【警備部門 環境目標と実績】

4.2.3-1 (空港ビル)

4.2.3-2 (徳島赤十字病院)

{ 設備部門 }: 4.2.4【設備部門 環境目標と実績】

6.2 温室効果ガスの排出量の実績

本社ビルの温室効果ガス排出量

2012年(2012年04月 ~ 2013年03月)

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B) or (A×B×C)	割合	排出係数 (B)	単位発熱量 (C)		
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力	kWh	71867	23428.642	48.60	0.326 (kg-CO ₂ /kWh)		
		化石燃料	灯油	L		0	0.00	0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L		0	0.00	0.0693 (kg-CO ₂ /MJ)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm ³	245	562.373	1.17	0.0499 (kg-CO ₂ /MJ)	46.0 (MJ/Nm ³)
			液化天然ガス(LNG)	kg		0	0.00	0.0494 (kg-CO ₂ /MJ)	54.5 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg		0	0.00	0.0598 (kg-CO ₂ /MJ)	50.2 (MJ/kg)
			ガソリン	L	10307	23929.3496	49.64	0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	110	288.6774	0.60	0.0687 (kg-CO ₂ /MJ)	38.2 (MJ/l)
						0	0.00		
		化石燃料 小計				24780.4	51.40		
		その他	熱供給(蒸気)	MJ		0	0.00	0.067 (kg-CO ₂ /MJ)	
						0	0.00		
			その他 小計				0	0.00	
		エネルギー消費 計				48209.042	100.00		
		産廃	廃油	t		0	0.00	2900 (kg-CO ₂ /t)	
廃プラスチック	t			0	0.00	2600 (kg-CO ₂ /t)			
廃棄物焼却処理 計					0	0.00			
その他				0	0.00				
	その他 計				0	0.00			
二酸化炭素合計				48209.042	100				

(注) 購入電力の排出係数については、国が公表する電気事業者毎の排出係数を用いて算定してください。

平成19年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10574>

四国電力 調整後排出係数 22年度 0.326 kg-CO₂/kWh

網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。

LPGの消費量を気体(m³)として把握している場合については「1 m³=2.07kg」として換算してください。

四国ガス(13A) 非排出係数 2.29 kg-CO₂/Nm³

46.0 MJ/Nm³

0.0499 kg-CO₂/MJ

「産廃」については、自らが焼却または製品及び燃料として使用した場合に限ります。

上記に該当しない項目で多量に投入しているエネルギーがある場合には、「温室効果ガス排出量算定・報告

マニュアルver2.4」(環境省/経済産業省)を参照して、排出量を算出してください。

「メタン」「一酸化二窒素」「ハイドロフルオロカーボン類」「パーフルオロカーボン類」「六フッ化硫黄」

については、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルver2.4」(環境省/経済産業省)を参照し、

各々の事業者にあった集計表を作成してください。

温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル：

<http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/manual/index.html>

7. 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組内容

7.1. 本社ビル

【本社ビル：活動項目の達成状況及び担当者コメント】

【環境目標】			
	1. 二酸化炭素排出量の削減 2. 廃棄物排出量の削減 3. 総排水量の削減 4. グリーン購入	電気使用量の削減 廃棄物の排出抑制 節水	輸送に伴う環境負荷の低減
	活動項目	計画達成状況(担当者：今井一史)	達成度
電力使用量の削減	<空調の適温化> *室内温度を 夏季：28 冬季：20 にする。 *上記温度を確認のため、室内各所の温度計を設置する。 *適温シールをコントローラー部に貼付	活動年数を経て、環境意識の浸透を感じる。 全項目で達成されていると感じる	
	<空調区域の適正化> *人が居ない場所の空調OFFの徹底	達成されている	
	<照明の適正化、スイッチの適正管理> *必要な照度を維持した上で、光源を削減する。 *人が居ない場所の照明OFF *節電シールをスイッチ部に貼付	達成されている	
	<その他電力の適正使用> *外出時のパソコン電源OFF *長時間離席時のディスプレイの電源OFF *モニタを液晶に順次切り換えていく *ドメインポリシー設定によるモニタ、HDDの停止	外出時及び長時間離席時のパソコン及びディスプレイ電源OFF：少々不十分な面があるがほぼできている モニタの液晶への切り換え：完了	
	<クールビズ・ウォームビズの実施>	充分できている	
輸送環境負荷の低減	<アイドリングストップ/適正空気圧等エコ運転配慮の指導> *急発進、急加速や空ぶかしの排除 *駐停車中のエンジン停止 *運転席にエコドライブシール貼付	充分できている	
	<公共交通機関の利用の促進> *近距離は自転車或いは徒歩で対応	まだ全員に浸透できていない面がある	
	<社有車購入の際、排ガスレベル、燃費、リサイクル素材の使用等の考慮>	購入時に考慮する	
廃棄物の排出抑制	<必要書類以外の印刷禁止>	印刷の失敗。 プレビューで確認等が必要。	
	<書類は可能な限り両面縮小印刷の実施>	ほぼ達成されているが、尚一層の浸透が必要	
	<ペーパータオルの廃止>	廃止済み	
	<再生紙の使用>	完全実施	
	<グリーン商品の購入に努める> *包装容器の簡素化、エコマーク製品の購入等	グリーン商品があれば優先的に選択	
<分別回収ボックスの適性配置 ゴミ分別の徹底>	まれに分別できていないことがあるが、ほぼ達成されている		

節水	< 節水ラベルの貼り付け >	実施済み	
省エネ	< 設備現場における省エネ活動 & 省エネ提案の指導他 >	設備管理業務のテーマの一つでもあり、データ分析も含め省エネに関する提案には努めているが、一層の研究が必要である。	
	< 省エネ塗料の展開 >	省エネ塗料の普及浸透を検討中である。	
内部監査	< 内部環境監査員による内部監査を受ける >	H25/02に内部監査を実施した。更なる充実と是正予防措置報告書の活用が課題であると考ええる。	

注：達成状況

○：充分できている

△：ほぼできている

□：未だ不十分である

×：できていない

【本社ビル 2012年度（2012/4～2013/3）の環境活動取組み結果と次年度への対応について】

- ・排水量を除き、2007年度実績比の目標5%削減を達成することができた。
- ・二酸化炭素削減量は、特に注意して力を入れた項目であり、前年排出量を大幅に下回ることができた。電気使用量は、前年比5.6%下回ることができた。（3年連続で前年比を下回ることができた。）徳島での2012年度の平均気温は、前年比で、夏期はほぼ同温度、冬期は少々高かった。（夏期06～09月の平均気温：2010年度26.475、2011年度25.875、2012年度25.875）（冬期12～03月の平均気温：2010年度7.125、2011年度7.15、2012年度7.325）空調設定温度の厳格な維持が功を奏しているものと考えられる。また、ガソリン使用量は、前年度比マイナス9.9%と大幅減となった。ガソリン使用量は業務量に比例すると考えられるが、前年比で業務量の大きな変化はなく、これも周知活動が浸透してきた結果と思われる。
- ・廃棄物は、総量で前年度と同じであった。前年が10%程度減少していることを考えると、活動を維持できたと考える。
- ・水道使用量は、前年度比で大幅に増加しており、漏水の可能性も含めて原因を究明しています。当初より飽和状態に近い目標設定値であったが、85 [リットル/人・日] 程度の使用量になったことになる。（社）建築設備技術者協会の年鑑における事務所建築「在勤者1人1日当たりの給水量」は100 [リットル/人・日] となっている。
- ・グリーン購入品目については、文具類中心であり使用用途が定まっているため、品目数を目標とすることは限界がある。今後、「グリーン購入の調達者の手引き（環境省）」等を参考にして品目分野の拡大を検討していきたい。

7.2 清掃部門

【清掃部門：活動項目の達成状況及び担当者コメント】

【環境目標】			
1. 廃棄物排出量の削減		廃棄物の排出削減	
	活動項目	計画達成状況(担当者：久米武夫)	達成度
廃棄物の排出抑制	< 休憩室より廃棄物排出量の削減 > * 必要書類以外の印刷禁止 * ゴミ分別の徹底	徹底できている	
	< 業務資材系容器廃棄物排出量の削減 >	徹底できている。 詰め替え可能な洗剤への移行が順調に進んでいる。	
電気使用量の削減	< 空調の適温化 >	設定温度を確認しています。 従業員に冷房（7月中旬）暖房（12月初旬）に説明している。	
	< 人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底 >	休憩終了時と帰宅時に担当者が確認している。	
	< 長時間離席時及び外出時のパソコンOFFの徹底 >	徹底できています。	
	< 休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底 >	担当者が確認しています。	
	< 帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく >	担当者が確認しています。	
輸送環境負荷低減	< アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導 >	アイドリングストップ等の説明文を作成し、周知説明及び掲示しています。	
	< 自転車や徒歩通勤の勧め >	現場近くの従業員に自転車/徒歩通勤を徹底しています。	
節水	< 水道使用方法の指導 > * 必要以外に水を使用しないことの徹底 * 各種洗濯物の使用量の把握 * たらいや洗濯機の使用の推進	今後も指導を継続していきます。	
	< トイレの水量を減らす >	今後も指導を継続していきます。	
内部監査	< 内部環境監査員による内部監査を受ける >	是正予防措置報告書及び現場連絡カードの活用を図り、充実できるように指導していきます。	

注：達成状況
 ○：充分できている △：ほぼできている ×：未だ不十分である ×：できていない

【清掃部門 2012年度（2012/4～2013/3）の環境活動取組み結果と次年度への対応について】

- ・2010年度より、比較の原単位を契約金額ベースに変更している。
- ・休憩室よりの排出量は、昨年同様、削減目標に対して大幅ダウン（前年比15%ダウン）となっている。環境活動への取組みの一層の浸透を感じる。
- 尚、控室における廃棄物量基準は、今まで通りの基準で比較を出したが、徳島赤十字病院控室においては、清掃業務以外の看護助手及び配膳業務の人たちも昼食時利用しており、相対的に排出量が多くなっている。今後、これら業務の金額も加え、基準値を見直す必要があると思われる。
- ・業務資材系容器の排出量については、削減目標値は達成したが、原単位比較で昨年より増えた。業務量及び内容により変動することもあり、今後のデータの推移に注意したい。

7.3 警備部門

【警備部門：活動項目の達成状況及び担当者コメント】

【環境目標】			
1. 廃棄物排出量の削減		廃棄物の排出削減	
	活動項目	計画達成状況(担当者：萩原栄二)	達成度
廃棄物の排出抑制	< 控室より廃棄物排出量の削減 > *ゴミ分別の徹底 *ペットボトルの使用を控える。水筒持参の推進。 エコキャップ運動の推進 *マイコップの奨励 *マイバッグ(買い物)の利用	達成できている 今後も周知維持の努力が必要 ・不要書類の印刷禁止 ・裏表印刷の実施	
電気使用量の削減	< 空調の適温化(警備控室) >	設定温度 夏季28 冬季20	
	< 人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底 >	不在時のOFF及び窓際の照明OFFできている	
	< 休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底 >	こまめに電源をOFFしている	
	< 冷蔵庫の温度調整 >	“弱”設定にしている	
輸送環境負荷低減	< アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導 >	エコドライブの心得の指導 運転方法についての再注意	
	< 自転車や徒歩通勤の勧め >	現場近くの勤務者には自転車通勤を勧めている	
節水	< 朝夕の洗顔、歯磨き、手洗い時の節水 >	たらい、マイコップを使用	
	< 水道使用方法の指導等 >	できている	
全体	< ビルメン関係控室等の巡回点検 > *関係者帰宅後：消灯、空調、ポット等	すべての電源をOFFしている	
内部監査	< 内部環境監査員による内部監査を受ける >	平成25年3月1日内部監査実施 更なる充実が必要と考える 是正措置報告書、現場連絡カードの活用もすすめる	

注：達成状況
 ○：充分できている △：ほぼできている ×：未だ不十分である ×：できていない

【警備部門 2012年度（2012/4～2013/3）の環境活動取組み結果と次年度への対応について】

- ・2011年度より、警備控室よりの廃棄物排出量データの採取。
初年度は、空港警備のみのデータであったが、本年度は徳島赤十字病院警備のデータも揃えた。
- ・ところが、廃棄物排出量データ集計を比較すると、8倍以上の差異が出ていることを確認した。
警備部門としてまとめて比較するには無理があり、取り敢えず目標と実績は個別に比較することとした。
警備員人数としてはほぼ同程度の現場であり、今後この差異についての検討をしていく必要がある。
- ・空港ビル警備については、昨年度に比べ排出量が半減している。
指導と各警備員の意識の変化によるものと考えるが、警備室の近くに自動販売機があり、また警備室周辺にゴミ箱も完備されており、この周辺環境も大きく影響しているものと思われる。
- ・徳島赤十字病院警備においては、今年度よりデータ取りをはじめたのであるが、原単位比較で清掃部門の12.675 [g/千円・年]と比較しても大きな値となっている。今後の検討調整が必要と考える。

7.4 設備部門

【設備部門：活動項目の達成状況及び担当者コメント】

【環境目標】			
1. 省エネ提案項目の推進 2. 廃棄物の排出削減（データの採取）			
	活動項目	計画達成状況(担当者：斎藤武重)	達成度
廃棄物の排出抑制	< 控室よりの廃棄物排出量の削減 > * 試し刷り時等の裏面再利用 * 再生紙の使用 * ゴミ分別の徹底 * マイコップの奨励	ほぼできている	
電気使用量の削減	< 空調の適温化 >	十分にできている	
	< 長時間離席時及び外出時のモニタOFF >	できている。外出時はOFF (長時間離席の判断が難しい)	
	< 帰宅時にコンセントを抜いておく >	できている	
	< 給湯室の電灯の照明をこまめに点消灯する >	個々人の意識を高める努力が必要	
	< 昼間、監視室の窓際照明の消灯 >	個々人の意識を高める努力が必要	
輸送環境負荷低減	< アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導 >	ほぼできている 個々人の意識を高める努力が必要	
節水	< フィルター清掃時の水道使用方法の指導等 >	十分にできている	
内部監査	< 内部環境監査員による内部監査を受ける >	今後、現場連絡カードの活用等を 図っていくことが必要	

注：達成状況
 ○：充分できている △：ほぼできている ×：未だ不十分である ×：できていない

【設備部門 2012年度（2012/4～2013/3）の環境活動取組み結果と次年度への対応について】

- * 2011年度より、設備控室よりの廃棄物排出量データの採取。
今年度も、阿波銀行/J S Bのデータとなった。
- ・業務間のデータ比較においては、空港ビル警備に近い数値となっている。似通った勤務形態である。
- ・数値は減少しており、活動が周知されていると推察できるが、廃棄物量が少なく比較値とするには少し無理な面があるようにも感じられる。今後のデータの推移を見守りたい。
- * 省エネ提案項目における「既存施設管理分」以外の「新規展開分」としての活動がスローダウン。
農業ハウスボイラー関係での展開をメインに置いたが、繁忙期前の展開が出遅れた感と、個々のハウスボイラーへの対応の手間で停滞した。
次年度は、省エネ塗料の他にLED照明化等の展開も考えられる。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社業務に係る環境関連法規としては、下記が該当する

法規の項目	規制内容（関係項目）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	同法第3条に基づき第7条の許可を受けた収集運搬業者に委託する。 事業系一般廃棄物の処理 収集運搬の契約書 - - 委託契約の確認
家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	同法第6条に基づき排出の抑制や再商品化等の費用負担に応じる。 事務所のエアコン、TV等が関係する 事務所から排出された家電製品 (エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機)
使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条（自動車の所有者の責務） 使用済自動車の再資源化等を促進するよう努める *自動車の長期間使用 *購入時には再資源化等を配慮した自動車を選択する *修理時には使用済自動車の再資源化により得られた物/これを使用した物を使用する 等々
エネルギーの使用の合理化に関する法律	同法第4条に基づき政府の定める基本方針に留意して、エネルギーの使用の合理化に努めなければならない。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	同法第5条に基づき物品を購入し、若しくは借り受け、又は役務の提供を受ける場合には、できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする。

当社における努力義務或いは受託先で必要となる環境関連法規及びそれ以外の取り決め等は、以下が該当する

法規の項目
エネルギーの使用の合理化に関する法律
建築物における衛生的環境の確保に関する法律 [建築物環境衛生管理基準]
水道法
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律
環境基本法
大気汚染防止法
水質汚濁防止法
下水道法
浄化槽法

当社における環境関連法規への違反はありませんでした。
また、過去3年間において関係機関・近隣等からの環境関連法規の違反の指摘等はありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

<p>②</p>	<p>環境目標</p>	<p><清掃部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 2010年度より、原単位を契約金額ベースに変更している。 休憩室よりの排出量は、昨年同様、削減目標に対して大幅ダウン（前年比15%ダウン）となっている。 <p>環境活動への取り組みの一層の浸透を感じる。尚、控室における廃棄物量基準は、今まで通りの基準で比較を出したが、徳島赤十字病院控室においては、清掃業務以外の看護助手及び配膳業務の人たちも昼食時利用しており、相対的に排出量が多くなっている。今後、これら業務の金額も加え、基準値を見直す必要があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務資材系容器の排出量については、削減目標値は達成したが、原単位比較で昨年より増えた。業務量及び内容により変動することもあり、今後のデータの推移に注意したい。 <p><警備部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 2011年度より、警備控室よりの廃棄物排出量データの採取。 <p>初年度は、空港警備のみのデータであったが、本年度は徳島赤十字病院警備のデータも揃えた。ところが、廃棄物排出量データ集計を比較すると、現場間で8倍以上の差異が出ていることを確認した。</p> <p>警備部門としてまとめて比較するには無理があり、取り敢えず目標と実績は個別に比較することとした。</p> <p>警備員人数としてはほぼ同程度の現場であり、今後この差異についての検討をしていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港ビル警備については、昨年度に比べ排出量が半減している。 <p>指導と各警備員の意識の変化によるものと考えるが、警備室の近くに自動販売機があり、また警備室周辺にゴミ箱も完備されており、この周辺環境も大きく影響していると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳島赤十字病院警備においては、今年度よりデータ取りをはじめたのであるが、原単位比較で清掃部門の12.675 [g/千円・年]と比較しても大きな値となっている。今後の検討調整が必要と考える。 <p><設備部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 2011年度より、設備控室よりの廃棄物排出量データの採取。 <p>今年度も、阿波銀行/JSBのデータとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務間のデータ比較においては、空港ビル警備に近い数値となっている。似通った勤務形態である。 数値は減少しており、活動が周知されていると推察できるが、廃棄物量が少なく比較値とするには少し無理な面があるようにも感じられる。今後のデータの推移を見守りたい。 <p>*省エネ提案項目における「既存施設管理分」以外の「新規展開分」としての活動がスローダウン。農業ハウスボイラー関係での展開をメインに置いたが、繁忙期前の展開が出遅れた感と、個々のハウスボイラーへの対応の手間で停滞した。次年度は、省エネ塗料の他にLED照明化等の展開も考えられる。</p>		
<p>③</p>	<p>環境活動計画及び環境経営システム</p>	<p><内部監査></p> <p>まだ、至らない点が多々ある。内部チェックシステムの充実へとつなげていきたい。</p> <p><省エネ事業></p> <p>設備部門における省エネ提案事業は、既存管理施設だけでなく、他の施設へもアプローチも継続していきたい。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> 有</p>	<p>展開には工夫を加え、活動の浸透を図ること。</p> <p>省エネ提案事業については、きめ細かな提案となるよう研鑽のこと。</p>